

大草谷津田いきものの里 自然観察会

変な葉っぱ

松本美千代（千葉市）

日時：2011年11月6日（日）10時30分～12時

参加者：4名 天候：曇り

担当指導員：和仁道大 松本美千代

今回のテーマ「変な葉っぱ」は、担当者の和仁さんと相談し、クモや昆虫を中心に紹介していくことにする。

- ① 穴あき葉っぱ（ムシの食べあと）
- ② 巻いたり、重なったり、ふくらんだりしたもの（昆虫やクモ等のすみか）
- ③ 葉っぱに見えるが実は昆虫やクモであるもの



シロダモハコブシ

上記①②③のような変な葉っぱを参加者にみつけてもらい、誰の仕業かを捜す。穴の形や植物を手掛りに主を捜す。見つからなかった場合を考えて、生きもの調査や観察会で撮ったクモや昆虫の証拠写真を用意しておく。ヒメコウゾを食べるクワササラゾウムシは10月末まで、7月上旬頃にオナガグモ、別名マツバグモの卵のうとクモのまどい、5月にスタジイの葉を食べるサシゲチビタマムシが見られた。

葉を荒らす悪いムシではなく、ムシって不思議、おもしろいなど興味をもってもらえるような変な葉っぱを下見で捜しておく。参加者が自分で見つけられるように簡単な絵とみられた場所を記入した冊子を用意する。

10日前二人が見つけた変な葉っぱは、

- ① 穴あき葉っぱ・・・ギシギシ、ヒメコウゾ、カラスウリ（クロウリハムシ）、スタジイ、アズマネザサ（タケノホソクロバ）、ムラサキシキブ（イチモンジカメノコハムシ）
- ② 巻いている葉っぱ等・・・ササ（コチャバネセセリ）、クワ、ヤマイモ（ダイモウセセリ）、アオキ（クサグモ）、糸でつるされた枯葉（ハツリグモ）シロダモ（虫こぶ・シロダモタマバエ）
- ③ 葉っぱにみえる（枯葉そっくりなアカキリバの写真を添える）・・・
クロノマチョウ、キタテハ、アオバハゴロモ、オンブバッタ、オナガグモ

下見ではみつからなかったが、みつかるといい葉っぱとしてアケビコノハ、カレハガの仲間など。ダンゴムシが作成した、きれいな葉脈だけの綺麗な？葉を貼ったしおりの裏に①②③の作業をした主の名を記入しておく。

当日雨はあがったが天気が悪く、参加者が少なかった。そういう天気のため、朝の下見で見たクロノマチョウが動かずそこにいて皆で見ることができたのは良かった。ギシギシにハグロハバチの丸まった幼虫、ヒナバッタ、ツチイナゴ、オンブバッタなど広場で見る。4人の参加者は皆生きものに詳しく、下見で担当者が見つけれなかったシロダモの葉の穴あき（バラハキリバチが切りとった①）やオナガグモを次々見つけられる。杉林で枯葉を吊ったハツリグモも。朝の下見ではオオギグモしか見られなかったが、扇形の網も見られた。リンドウの花、コバノガマズミやムラサキシキブの実、ヌルデの紅葉を楽しむ。広場に戻り、冊子をまとめる。Yさんが用意してくれた変な葉っぱのスギ、スギにまつわる話、カニクサの説明文を読み、観察会を終える。